



WAW!2022 コンセプトノート

(参考)女性と環境・グリーン社会を巡る現状と課題

気候変動は、すべての人に影響を与えますが、その影響の度合いは性別や年齢、社会的階層などで異なります。例えば後発途上国の女性が生活用水の確保を担っている場合、洪水や干ばつ、サイクロン等の影響で環境が変わり、より遠くの地域まで水汲みに行かなくてはならないケースもあります。気候変動に起因する災害によって、女性の家事や育児の負担が増えたり、生計手段を失うリスクが男性よりも高くなるなどの影響もあります^(注1)。

国連女性機関（UN Women）によると^(注2)、女性たちによる、地球の環境破壊や気候変動問題への取り組みも盛んです。また、廃棄される高級生地をリサイクルするファッションブランドを創設したイタリア人女性もいます^(注3)。日本では、低公害車両による運送とライフスタイルに合わせた働き方も組み合わせた女性起業家もいます^(注4)。女性の参加率が高いほど気候変動の取組のパフォーマンスは高くなり、女性の活躍がゼロエミッション社会促進のカギであるとの分析報告もあります^(注5)。

脱炭素化推進の主体はエネルギー関連産業だけではありません。日本では今後、電気自動車（EV）、省エネ半導体等の輸送・製造関連産業や、省エネ住宅等の家庭・オフィス関連産業の取組強化が見込まれています^(注6)。こうした分野ではこれまで女性の登用は限定的であったため、女性の視点を反映した製品はまだ不足しています。例えば、省エネ住宅を建設する際に、実生活でどの部分を節約できるのかを女性の視点から検討すれば、エネルギーをより一層効率的に利用する住宅を創出することができるかもしれません。そのためには、若いうちからのSTEM分野における女性の教育や人材育成も推進していく必要があります。

今年のG7サミットでも、エネルギー部門におけるジェンダー平等や多様性を強化する行動を本年末までに特定するよう、エネルギー大臣に求めることが成果文書に盛り込まれました。また、今年の国連女性の地位委員会では、気候変動、環境及び災害リスク削減の政策・プログラムにジェンダーの視点を取り入れ、かつ女性が完全、平等、有意義に参加すること等が合意されました^(注7)。

日本では、2021年に成立した改正地球温暖化対策推進法では、企業の温室効果ガス排出量情報をオープンデータ化することが規定されました。また、投資家によるESG情報への関心も高まっており、7月には、日本取引所グループが、ESG債券の情報を一覧化した「情報プラットフォーム」を公表しました。こうしたデータの充実に

より、企業の ESG（環境・社会・ガバナンス）情報を投資判断に取り入れる動きが一層加速することが期待されます。

気候変動対策情報と並び、女性活躍情報も ESG 情報のひとつです。近年、各国において、ビジネスと人権との関わりが見直されてきています。1995 年の「北京宣言・行動綱領」にも明記されたように、女性の権利は人権であり、企業は女性の権利状況も含めた人権状況を開示することが求められています。今や人権に配慮した企業活動は当たり前なものとなる中で、脱炭素化と女性活躍双方の分野に取り組み、情報を開示することで、企業も相応の評価を受け、より多くの資金調達が可能となり、企業価値の向上や企業の持続可能な成長に繋がるとともに、多様な視点から脱炭素化に取り組むことができるようになるほか、ジェンダーの視点を取り入れることで様々な問題の解決を図ることにも繋がります。気候変動や環境分野におけるジェンダー平等と女性のエンパワーメントの議論は、今後一層発展し、具体的な行動に繋げていくことが求められます。国際女性会議 WAW!2022 では、脱炭素化施策の計画段階から女性が参画する転換点となることを目標とし、国内外の実践例を共有するとともに、今後の具体的な行動を検討しています。

(注1) [UNDP, “Gender and Climate Change: Impact and Adaptation”](#)（英語）

(注2) [UN Women, “In the Bolivian Amazon, women are protecting the forest and empowering themselves”](#)（英語）

(注3) [国連広報センターTwitter](#)

(注4) [全国商工会議所女性会連合会, “女性起業家大賞”](#)

(注5) [資源エネルギー庁, “脱炭素化社会に向けて世界が集結！東京ビヨンド・ゼロ・ウィーク開催\(前編\)”](#)

(注6) [資源エネルギー庁, “カーボンニュートラルに向けた産業政策“グリーン成長戦略”とは？”](#)

(注7) [UN Women, “CSW66 Agreed Conclusions”](#)（英語等）